

令和3年11月11日

サムコ株式会社社理会長の寄附金を活用した 高度人材「企業人ドクター」育成プロジェクト構想について

この度、国立大学法人京都工芸繊維大学では、サムコ株式会社（京都市伏見区）会長辻理氏の支援協力を得て、新たな企業人ドクター育成のプロジェクト構想を取りまとめましたのでお知らせ致します。

令和3年9月、サムコ株式会社社長辻理氏と京都工芸繊維大学森迫清貴学長との懇談において、人生100年時代を迎え、研究開発のリーダーとして活躍が期待できる人材育成の必要性とその方策について、企業経営者、アカデミア双方の立場から意見交換が行われました。

その懇談では、

- ・ 日本の先端ものづくり企業において、「国際競争力」「人材育成」の強化は、急務となっていること。
- ・ そのために企業の中核人材となる40歳代半ばの研究者を鍛え、新たなステージに飛翔させ、引き続き企業において活躍すること。
- ・ 日本企業の現状に鑑みて、そうした有能な人材の育成は、企業の国際競争力を強靱にし、産業界の科学力向上を期待することができること。
- ・ その方策として、学位＝博士号を取得するという過程を通じて実現させること。
- ・ 本学の理念にある「京都発の先鋭的な国際的工科系大学 KYOTO Institute of Technology として、これまでにない新しい発想や価値の創造を実現」すること。

以上の点で意見の一致を見るに至りました。

本学としては、これらは、日本の技術力向上にまさに的を射た視点であり、そうした人材が企業の後進の指導を行うことによって、更に「企業の人材育成の好循環」を生み出すことが期待できると考えており、辻理氏からは、全面的な資金提供という、極めてありがたいお申し出を頂くに至りました。

本日、財源の全額提供者である辻理氏同席のもと、本学森迫清貴学長から「企業人ドクター」というキーワードのもと約4年半にわたる総額1億円規模の構想「(仮称)グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト」として、新たな産学協働のプロジェクトを発表するものです。

1. プロジェクト構想の概要

次の(1)～(5)のプログラム等をパッケージ化した京都企業から世界を展望する概ね45歳前後を対象とする「企業人ドクター」育成の産学協働プロジェクト

- (1) 「先端材料科学」で構成する半期の寄附講座
「サムコ辻理寄附講座」の開設
- (2) 「企業人ドクター」を養成する2年間の博士後期課程
「(仮称)先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」
- (3) 企業人大学院生を入学前後でサポートするメンターの配置
- (4) 産学協働研究会の運営
「(仮称)先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー」
- (5) 博士後期課程における研究活動・加速化支援（研究経費等の支援を想定）

2. プロジェクトの特徴

- (1) 京都企業に勤務する概ね45歳の研究開発者を対象とした博士後期課程
- (2) 博士号取得後、勤務する企業において、研究開発リーダーとして国内外で活躍するとともに企業内の人材育成に貢献頂くことを目指す。(リスクリング)
- (3) 海外からの著名な研究者の積極的な招聘による講義などを展開、英語力の強化につなげる。
- (4) 企業人大学院生と企業と大学の産学協働プロジェクトとして実施
- (5) 効果的な研究の実施に向けて、企業人ドクター履修生と大学研究者との緊密なマッチングを実施
- (6) 日本の産業の根幹であり強みであり、国際競争力を有する「材料科学」をテーマに京都企業から更なる技術力向上を目指す。
- (7) 事業規模総額1億円の約4年半の時限プロジェクト

3. 背景

近年、科学技術分野での発表論文数の減少など日本の科学技術力の低下が国をはじめ各方面から指摘されております。

こうした状況下、博士後期課程に進学する学生への経済的支援(学費免除、生活費や研究費の支援)が国において制度化されつつあり、本学としてもこうした国の制度を積極的に活用(※)するとともに、令和4年度からは、修士課程から博士後期課程に進学する学生への授業料の全額免除などの支援策を決定しております。

一方、人生100年時代を迎え、現在40歳代半ばの企業に勤務する研究開発者に更なる飛翔(ステージアップ)に挑戦できるよう、特に英語力を鍛え、技術革新が激しい国際競争に打ち勝つリーダーとなるべき人材に育てることは、京都の産業界、引いては我が国の研究開発力の向上に、極めて重要と考えますが、そうした取り組みについては、国の制度も含めてまだまだ具体化しておりません。

4. 新たなプロジェクト構想の実現に向けて

上記の課題意識を強くお持ちのサムコ株式会社社長辻理氏から貴重な寄附金の申し出があり、本学において、課題の共通認識のもと、構想発表に至ったものです。

今後は、詳細な制度設計と具体的な実施方法の検討を行い、令和4年度事業として、事業計画策定・予算化の手続きを経て、令和4年4月に前期・半年間の寄附講座をスタートさせる予定です。

同年8月には寄附講座受講者を対象に企業人ドクターコースの入試を実施し、次世代を担う企業人の博士後期課程受け入れを進めて参ります。

5. プロジェクトの各項目の概要など

(1) 寄附講座の開設

「先端材料科学」をテーマに開設する講座は、本学在校生や一般にも科目登録及び受講頂けるように広く材料科学と博士人財の活用の重要性を提唱。

学内外、産業界や海外からの多彩な講師陣による構成とします。

(2) 鍛え上げプログラムの規模等

博士後期課程の定員は、第一期生4名、第二～第三期生各4名の計12名を想定しております。

以上、まずは、日本の強みである電子材料科学を核に材料(マテリアル)科学全般において、4年半を目途に講座等の開講を実施する計画です。

6. 今後の展望

この度のサムコ株式会社社長辻理氏の先見性に敬意を表するとともに、多額のご寄附のお申し出に大変厚く感謝申し上げます次第です。

今後、他の領域への展開を検討するとともに、本寄附講座が起爆剤となって、京都からこうした取り組みが全国に広がっていくことを強く期待するものです。

加えて、本学としてもこの寄附講座を通じて、米国MIT、英国ケンブリッジ大学などとの人材を含めた交流、例えば招聘教授としての京都での学術講演会なども検討していきたいと考えております。

※「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」採択
(文部科学省)

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択
(科学技術振興機構)

7. 本件の問い合わせ先

国立大学法人京都工芸繊維大学

研究推進・産学連携課

電話 075-724-7714 FAX:075-724-7030 E-mail:ken-apply@jim.kit.ac.jp

サムコ株式会社

広報・IR室 土橋篤志

電話 075-621-7841 E-mail koho@samco.co.jp

(参考)

プロジェクトのイメージ

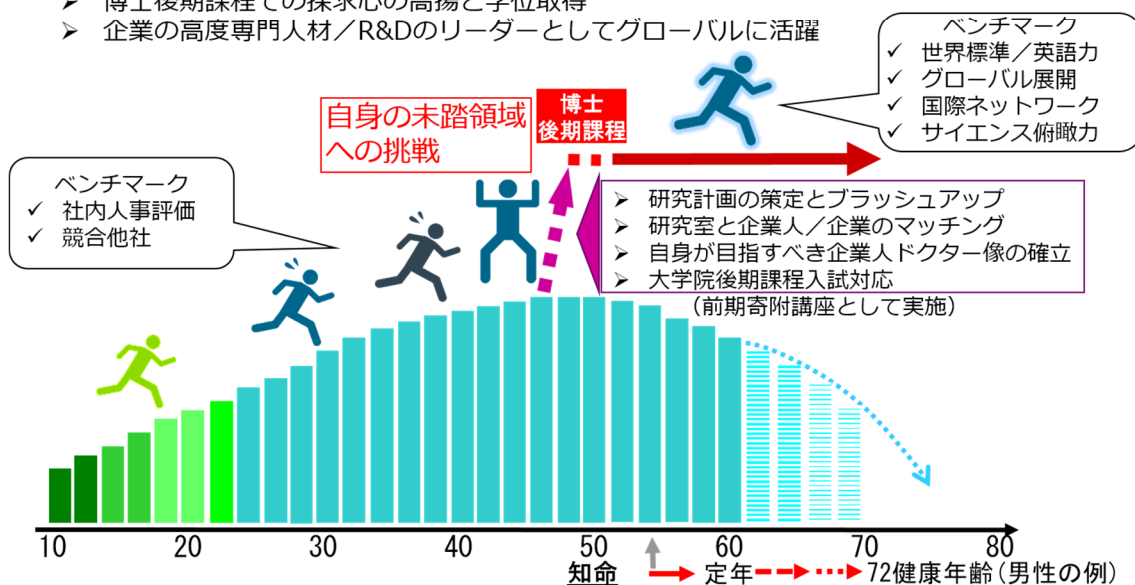
(仮称)グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト

サムコ辻理寄附講座

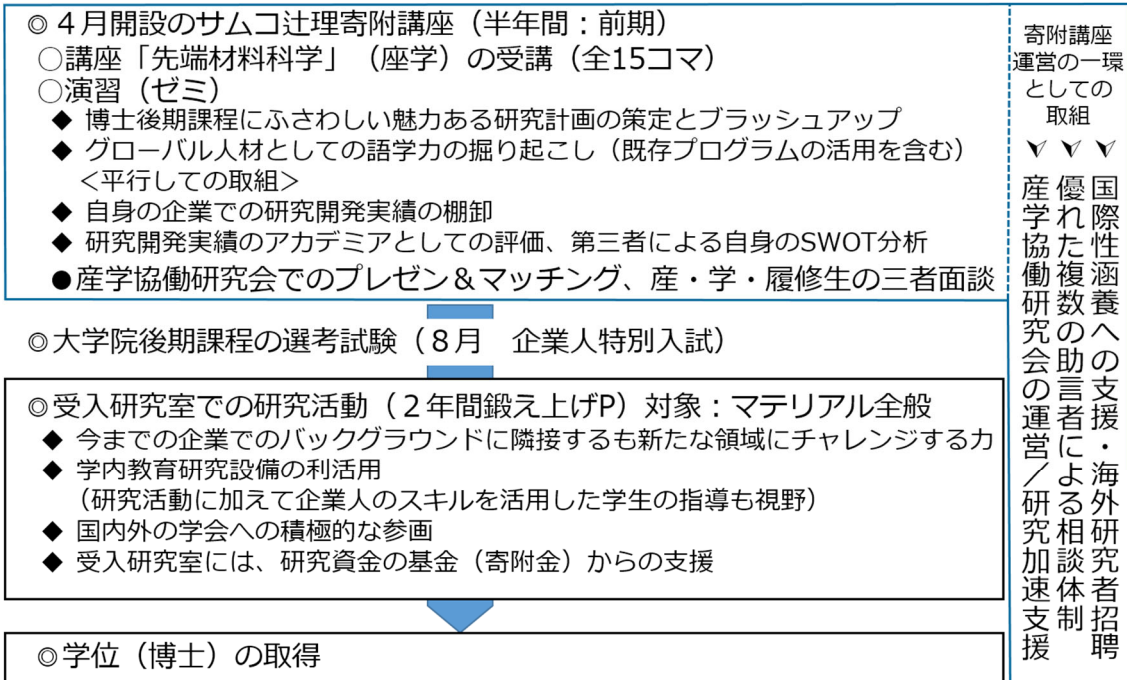
「講座(公開):先端材料科学」と「博士後期:先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」をパッケージ化

- ポイント ① 50才から70才までの20年間の新たなステージを切り開く力
② 産学協働で京都企業の有能で貴重な「人財」を最大限活用する仕組み

- 博士後期課程での探求心の高揚と学位取得
- 企業の高度専門人材/R&Dのリーダーとしてグローバルに活躍



博士後期課程修了（博士号取得）までの流れ（秋入学の場合）



✓ 大学院後期課程の身分は、原則会社からの教育派遣とする。

産学協働研究会のイメージ

（仮称）先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー

目的 企業人ドクターコース大学院生をコアとした
先端マテリアルのシーズ/テーマ融合を目指す研究会活動

